

長谷ダム堤体直下想定最大浸水区域図



浸水解析結果

ため池番号		3
ため池名称		長谷ダム
堤体直下想定被害区域のうち		
	人家	なし
	公共施設	なし
	国道	なし
	学校・病院	なし
	その他	あり

想定最大浸水深

長谷ダムが決壊した場合
 ・長谷ダム直下で最大水深は緑色の1.5mとなりました。
 ・ヤロード橋と長谷橋が浸水する表示となっていますが、写真のとおり橋の下を流下するため橋は水没しません。
 (決壊後約10分)

この図面は農業用ため池のみを対象としたものです。
 本農業ため池については、レベル1地震動※に対する安定性が確認済みです。

※レベル1地震動: 施設の供用期間内に1~2度発生する確率の地震動

測量法に基づく国土地理院長承認 (使用) R3JHs 93

注記1: 小曲ダムについては、解析において常時満水位かつ決壊を想定していない。

注記2: この図面は農研機構 (国立研究開発法人 農業・食品産業技術総合研究機構 農村工学研究部門) のSIPOND Professional 版にて、国土地理院「国土基盤情報10mメッシュ標高」を使用してため池が決壊した場合の歩行困難区域を出力し、地形図に重ね合わせて表示したものです。